

本

書は、OBD 検査・確認を行う指定工場・認証工場における管理責任者もしくは統括管理責任者が使用する『利用者管理システム』の操作方法をまとめたマニュアルです。

なお、OBD 検査・確認の利用申請（事業場 ID の申請）については、別冊『管理責任者・統括管理責任者用 事業場 ID 申請&検査用スキャンツール届出・設定マニュアル』により、すでに終了しているものとして本書を構成しています。

本書の対象	収録内容
管理責任者もしくは統括管理責任者 ※ OBD 検査・確認を行う事業場や特定 DTC 照会アプリの利用者（検査員・工具）の管理を行う者	事業場・利用者の情報管理をする際に使用する『利用者管理システム』の操作方法

OBD 検査は、国の定める自動車検査の検査項目として、2024 年 10 月以降に新たに追加されます。従って認証工場は任意ですが、指定工場は、『令和 6 年 9 月 30 日まで*』に OBD 検査を行える体制にしておく必要があります。なお、OBD 検査の対象となる車両は、次のとおりです。

OBD 検査の対象車
国産車は令和 3（2021）年 10 月 1 日以降の新型車（フルモデルチェンジ車）
輸入車は令和 4（2022）年 10 月 1 日以降の新型車（フルモデルチェンジ車）

なお、『利用者管理システム』のバージョンアップ等により、本書の内容と適合しなくなるおそれがあります。ご了承ください。

令和 6 年 6 月
公論出版 編集部



令和 6 年 9 月 30 日まで*

- ① 指定規則が改正され、令和 6 年 10 月 1 日施行により、指定工場は『検査用スキャンツール』を備えなければならないことになる。
- ② 従って、令和 6 年 9 月 30 日までに少なくとも『検査用スキャンツールに関する変更届出（指定工場のみ）』を終えていることが求められる。
※ 指定工場として備えなければならない検査機器を備えていない場合は、指定工場の要件を満たしていないことになる。
- ③ しかし、指定規則の附則において、『経過措置』が次のように定められている。
令和 6 年 10 月 1 日において、すでに指定工場となっている場合、もしくは指定の申請をしている場合、『検査用スキャンツールを備えなければならない』という規定について、令和 6 年 10 月 1 日以降、事業場の位置を変更するまでの間は適用されない。
- ④ これにより、事業場の位置を変更しなければ必ずしも令和 6 年 9 月 30 日までに検査用スキャンツールを備え付けていなくてもよいことになる。
※ この場合、OBD 検査開始の令和 6 年 10 月 1 日以降、『OBD 検査対象車』の検査はもちろんできないが、『OBD 検査の対象外車』であれば、現状では続けて指定整備を行うことができるとされている。

《目次》

はじめに

1	OBD 検査とは？	4
2	OBD 検査で利用するシステム及びアプリとシステムの構築例	4
3	OBD 検査の要否確認	5
4	OBD 検査を行うために必要なもの	5
5	OBD 検査の流れ	8
6	管理責任者・統括管理責任者とは？	8
7	管理責任者・統括管理責任者の業務	10
8	本書で使用している用語について	10

『利用者管理システム』

1 『利用者管理システム』 概要

1	利用者管理システムとは？	12
2	利用者管理システムを使用して行うことができる作業	12

2 基本操作

1	ログイン	14
2	ログアウト	17
3	基本画面の情報	18
4	項目のガイド（説明）表示	19
5	前の画面に戻る	20

3 管理責任者及び統括管理責任者の業務①利用者の管理

1	（特定 DTC 照会アプリ）利用者の確認	21
2	（特定 DTC 照会アプリ）利用者の個別管理①登録	24
3	（特定 DTC 照会アプリ）利用者の個別管理②修正	27
4	（特定 DTC 照会アプリ）利用者の個別管理③削除（利用停止日の設定）	30
	★ 利用停止日の変更	33
5	（特定 DTC 照会アプリ）利用者の一括管理（CSV で登録・修正・削除）	35

4 管理責任者及び統括管理責任者の業務② OBD 検査実績の管理

1	OBD 検査実績の確認	40
2	OBD 検査実績の保存（CSV 出力）	45

5 管理責任者及び統括管理責任者の業務③端末を増やす

1	クライアント証明書の追加発行（端末を増やす）	47
2	Soliton KeyManager のインストール	49
3	クライアント証明書のインストール	58
4	特定 DTC 照会アプリのダウンロード	65
5	特定 DTC 照会アプリの配布	65
6	特定 DTC 照会アプリのインストール	66

6 管理責任者の業務／事業場情報の確認・修正・変更

1 事業場情報の確認	69
2 事業場情報の修正・変更①	70
3 事業場情報の修正・変更②管理責任者入れ替え時の留意点	75
4 利用者管理システムの利用停止	76

7 統括管理責任者の業務／事業場情報の確認・修正・変更

1 グループに所属する事業場の情報を個別に確認	79
2 グループを統括管理する拠点（本社）の情報を確認	81
3 グループ情報の修正・変更	81
4 グループに事業場を追加する	88
5 グループ情報の一括更新（CSV）	95
6 利用者管理システムの利用停止	99

トラブルシューティング

1 ログイン関連①ログイン画面が表示されない	105
2 ログイン関連②ログインできない（パスワード／ログイン ID 忘れ）	106
3 パスワード変更①利用者管理システムのパスワード変更	114
4 パスワード変更②（特定 DTC 照会アプリ）利用者のパスワード変更	115
5 クライアント証明書①更新	119
6 クライアント証明書②インストール時にエラーとなる	122
7 クライアント証明書③アンインストール	123
8 クライアント証明書④インストールされているクライアント証明書を確認する	125
9 申請関連①確認コードが記載されたメールが届かない	127
10 申請関連②申請受付メールが受信できない	128
11 申請関連③変更・停止申請の取り下げ	128
12 メール関連①受信したクライアント証明書用招待コードメールが文字化けする	131
13 メール関連② OBD 検査システムから送付されるメールの種別を確認したい	132
14 エラー関連①セッション切断画面が表示される	132
15 エラー関連②エラーメッセージが表示される	133
16 事業場 ID の確認方法	134
17 指定番号・認証番号の入力ルール	134
18 管理責任者から統括管理責任者へ変更	135
19 OBD 検査ポータルサイト／問い合わせ先	140

検査員・工員が使用する『特定 DTC 照会アプリ』について

1 特定 DTC 照会アプリの機能	141
2 特定 DTC 照会アプリで OBD 検査を行うための条件	142
3 検査用スキャンツールについて	142
4 特定 DTC 照会アプリの動作環境（パソコンやタブレットのスペック）	145
5 二次元コードリーダー・IC タグリーダー（任意機器）	146
6 OBD 検査と OBD 確認	147

検査員・工員が使用する『OBD 検査結果参照システム』について

1 OBD 検査結果参照システムの機能	148
2 利用する前の確認事項	149

1	OBD 検査とは？	4
2	OBD 検査で利用するシステム及びアプリとシステムの構築例	4
3	OBD 検査の要否確認	5
4	OBD 検査を行うために必要なもの	5
5	OBD 検査の流れ	8
6	管理責任者・統括管理責任者とは？	8
7	管理責任者・統括管理責任者の業務	10
8	本書で使用している用語について	10

1 OBD 検査とは？

1. OBD 検査とは、自動運転技術などに用いられる電子制御装置が適切に機能しているかを確認する検査である。
2. 国の定める自動車検査の検査項目として、令和6（2024）年10月以降に新たに追加される。
3. OBD 検査の対象となる車両は、次のとおり。
 - ①国産車は令和3（2021）年10月1日以降の新型車（フルモデルチェンジ車）
 - ②輸入車は令和4（2022）年10月1日以降の新型車（フルモデルチェンジ車）
4. OBD 検査の対象となる車両の車検証には、『OBD 検査対象車』（電子車検証の場合は『OBD 検査対象』）などの記載がある。

2 OBD 検査で利用するシステム及びアプリとシステムの構築例

1. OBD 検査・確認は、次の3つのシステムやアプリを利用して行う。

システム・アプリの名称	利用者	主な機能
①『利用者管理システム』	管理責任者・ 統括管理責任者	事業場及び特定 DTC 照会アプリを使用する 検査員・工員の管理を行う
②『特定 DTC 照会アプリ』	検査員・工員	OBD 検査の合否判定を行う
③『OBD 検査結果参照システム』	検査員・工員	OBD 検査結果を参照することができる

2. OBD 検査・確認に関する3つのシステムやアプリのシステム構築例は次のとおり。

パターン1：全てのシステム・アプリを一つの端末にインストール

- ①『利用者管理システム』
- +②『特定 DTC 照会アプリ』
- +③『OBD 検査結果参照システム』



全てを
検査用スキャンツールで！

- 『Soliton KeyManager』、『クライアント証明書』及び『特定 DTC 照会アプリ』のインストールが一度で済む。
- パスワード管理をきちんと行っておく必要がある。パソコン・タブレットにパスワードを記憶させておくと、管理責任者・統括管理責任者以外が利用者管理システムを使用してしまうおそれがある。また、検査員・工員以外が特定 DTC 照会アプリを使用してしまうおそれがある。

パターン2：利用者管理システムと特定 DTC 照会アプリの端末を分ける

①『利用者管理システム』 ②『特定 DTC 照会アプリ』+③『OBD 検査結果参照システム』



専用端末



検査用スキャンツール

①『利用者管理システム』 ②『特定 DTC 照会アプリ』 ③『OBD 検査結果参照システム』



専用端末



検査用
スキャンツール



専用端末

- 『Soliton KeyManager』、『クライアント証明書』及び『特定 DTC 照会アプリ』のインストールを個別に行う必要がある。
- 利用者管理システムを使用する管理責任者・統括管理責任者と特定 DTC 照会アプリ及び OBD 検査結果参照システムを使用する検査員・工員の端末を分けることで、セキュリティーを保つことができる。

3 OBD 検査の要否確認

1. OBD 検査の対象となる車両であっても、OBD 検査を実施しなくてもよい期間と、検査項目として OBD 検査が適用となる時期が法令により定められている。
2. 具体的には次の場合、OBD 検査対象車であっても OBD 検査不要と判定される。
 - ①検査日が令和 6 年 9 月 30 日以前（輸入車は令和 7 年 9 月 30 日以前）である
 - ②検査日が型式指定年月日から 2 年を経過していない
 - ③検査日が初度登録年月又は初度検査年月の前月の末日から起算して 10 ヶ月を経過していない
3. このように OBD 検査の要否は、型式の情報だけでなく、車両 1 台 1 台の細かい情報を踏まえて個別に決定している。
4. 従って、型式及び初度登録年月日を入力して検索する OBD 検査結果参照システムを使用した OBD 検査の要否結果と、より詳細な車両情報を入力して検索する特定 DTC 照会アプリによる要否結果とは異なるケースがある。OBD 検査の実施は、より詳細な車両情報を入力する**特定 DTC 照会アプリの要否確認結果に従って行う**。

4 OBD 検査を行うために必要なもの

1. OBD 検査・確認^{*1}を各事業場で実施するためには、事業場ごとに OBD 検査システムの利用申請（これを事業場 ID 申請という）及び検査用スキャンツールなどが必要となる。

※ OBD 検査・確認の利用申請（事業場 ID の申請）については、別冊『管理責任者・統括管理責任者用 事業場 ID 申請&検査用スキャンツール届出・設定マニュアル』により、すでに終了しているものとして本書を構成している。従って本書には、事業場 ID 申請に関する項目は収録していない。

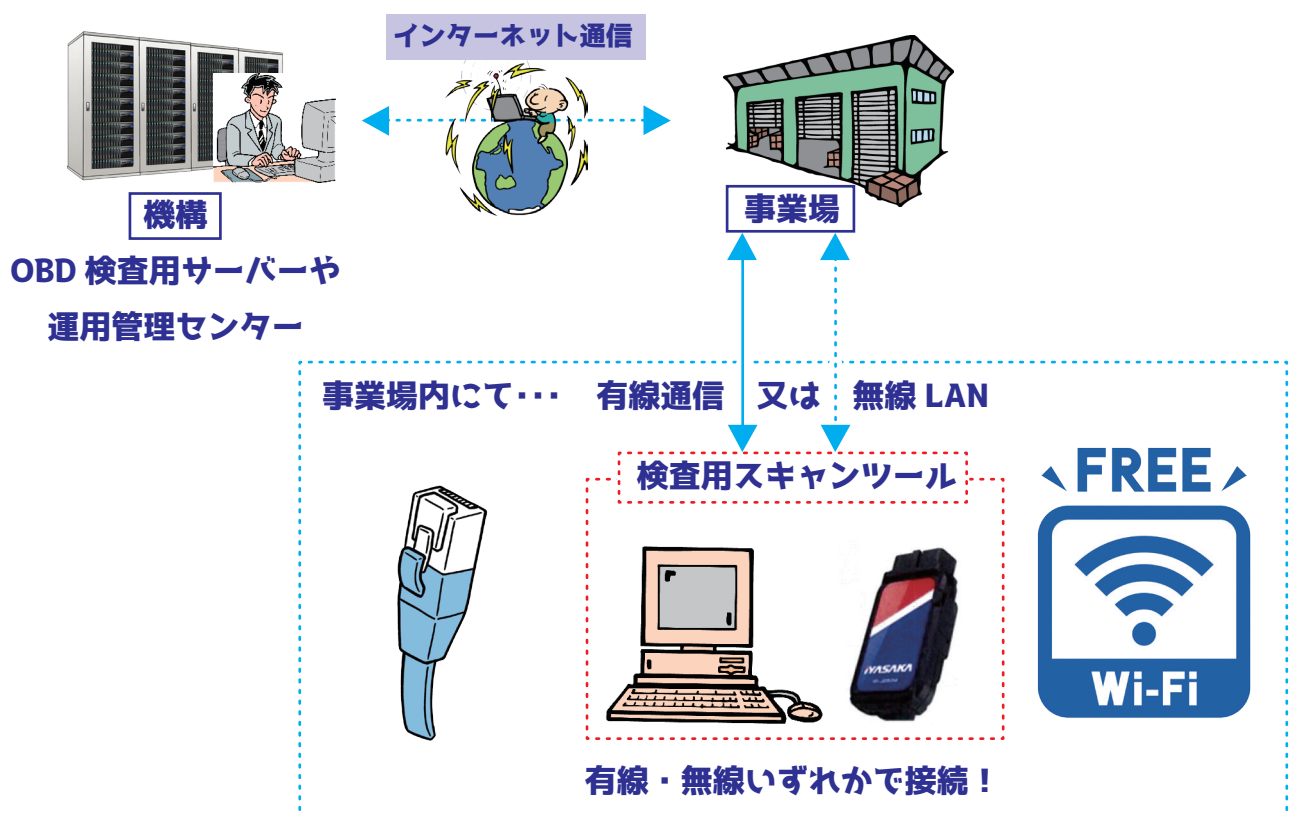
2. 事業場 ID 申請は、『管理責任者』もしくは『統括管理責任者』が行う。

OBD 検査・確認*1

- ① OBD 『検査』 … 指定工場の検査員が、従来の検査に加えて行う新たな検査項目。
- ② OBD 『確認』 … 認証工場の工員が、点検整備終了後の出来栄確認時に実施する。または、指定工場の検査員・工員が受け入れ点検時に行く。なお、認証工場が OBD 確認を行い、合格判定が出れば持込検査時に機構による OBD 検査は省略される。

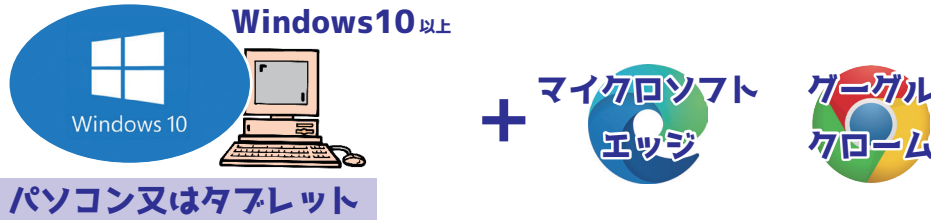
1. インターネット環境

- ① 事業場 ID の申請や OBD 検査・確認は、インターネット回線を通じて機構の運用管理センターやサーバーとやり取りを行う。
- ② OBD 検査・確認は、検査用スキャンツールで読み取った車両の情報をインターネットにて OBD 検査用サーバーに送信して行う。
- ③ 事業場における検査用スキャンツールのインターネットへの接続方法は、『無線 LAN』もしくは『有線通信』のいずれかで行う。
- ④ ただし、有線によりインターネットへ接続できない場合（LAN ケーブルを接続できないタブレットなど）は、無線 LAN の準備が必要となる。



2. 管理責任者・統括管理責任者用のパソコン又はタブレット*2

- ① OS は『Windows10 以上』
- ② インターネットブラウザは、『マイクロソフト・エッジ』もしくは『グーグル・クローム』が指定されている。



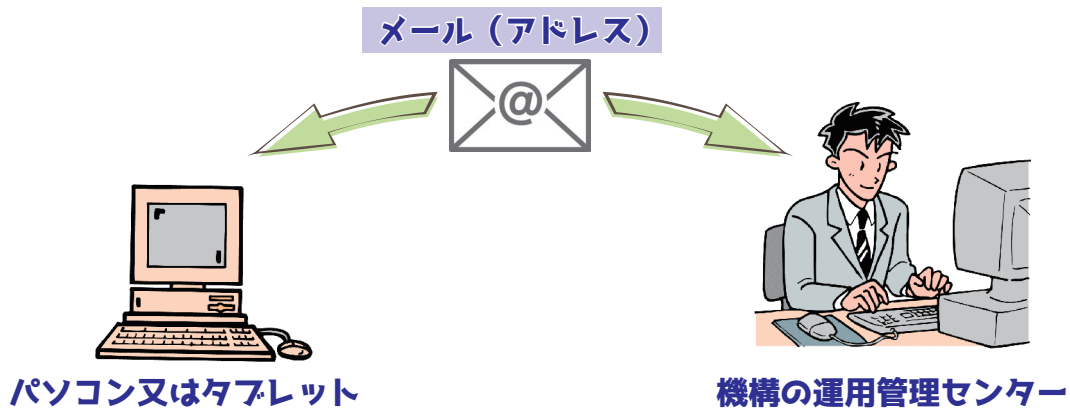
管理責任者・統括管理責任者用のパソコン又はタブレット*2

- ① 管理責任者・統括管理責任者用のパソコン又はタブレットに『利用者管理システム』及び『OBD 検査結果参照システム』のみを構築する場合には、Windows10 以上であればよいとされている。
- ② しかし、管理責任者・統括管理責任者用のパソコン又はタブレットに『特定 DTC 照会アプリ』をインストールする場合は、以下の動作環境を満たす必要がある。

CPU	1GHz 以上
メモリ	2GB 以上
ディスク	C ドライブ空き容量 1 GB 以上
OS	Microsoft Windows10 又は 11 以上 (Home 又は Pro)
ソフトウェア	.NET Framework 4.6.2 以上 Microsoft Visual C++ 再頒布可能パッケージ (2017 以上) 32bit 版 ※ソフトウェアのバージョンを確認するには、Windows のスタートボタン → 『設定』 → 『アプリ』 → 『アプリと機能』の順に選択し、確認したいソフトウェアを選択する。
ネットワーク通信	有線又は無線でインターネット接続が可能であること

3. 管理責任者・統括管理責任者及び特定 DTC 照会アプリを使用する検査員・工員のメールアドレス*3

- ① 事業場 ID の申請は、管理責任者・統括管理責任者がメールを使用して行う。
- ② 特定 DTC 照会アプリを使用する検査員・工員については、管理責任者・統括管理責任者による『利用者情報の登録時』にメールアドレスが必要となる。



検査員・工員のメールアドレス*3

①検査員・工員がメールアドレスを有していない場合、管理責任者・統括管理責任者のメールアドレスでも登録することができる。その場合、管理責任者・統括管理責任者は、検査員・工員あてに来たメール（連絡）についてその内容を検査員・工員に伝える必要がある。

5 OBD 検査の流れ

- | | |
|------------------|---------------------------|
| ①特定 DTC 照会アプリの起動 | …照会アプリへログイン |
| ↓ | |
| ②車両受付（車検証情報の入力） | …車両情報を照会アプリに入力 |
| ↓ | |
| ③OBD 検査要否の確認 | …OBD 検査が必要かどうかを確認 |
| ↓ | |
| ④検査実施 | …インターネット経由で検査を行う |
| ↓ | |
| ⑤検査結果確認 | …必要に応じて帳票の印刷や CSV をダウンロード |

6 管理責任者・統括管理責任者とは？

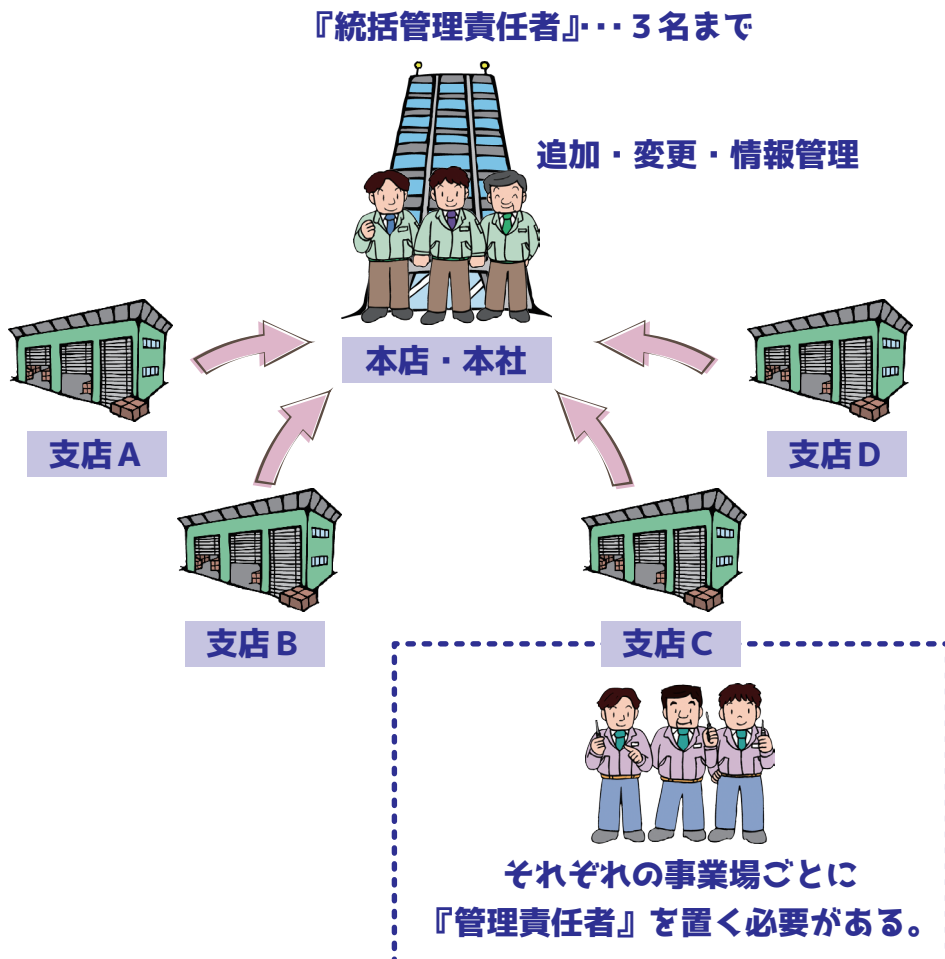
①管理責任者

1. 事業場における OBD 検査用のアプリ (特定 DTC 照会アプリ) の利用者 (検査員・工員) の情報を管理する責任者。
2. 1つの事業場に対して、3名まで登録することができる。
3. 誰がやるのか？ … 法令上明確化されていないが、OBD 検査・確認を行う検査員・工員の情報を管理するため、一般的には『社長』『事業場管理責任者 (店長、工場長)』『整備主任者』等が適任となる。



② 統括管理責任者

1. ディーラーなどのグループに所属する複数の事業場及び OBD 検査用のアプリ（特定 DTC 照会アプリ）の利用者（検査員・工員）の情報を統括して管理する責任者。
2. グループ内の事業場の追加・変更、特定 DTC 照会アプリの利用者の一括管理が可能。
3. 1つのグループに対して、3名まで登録することができる。
4. 誰がやるのか？ … 法令上明確化されていないが、一般的には本社の人事担当者などが適任となる。



7 管理責任者・統括管理責任者の業務

1. 管理責任者・統括管理責任者は『利用者管理システム』を使用して、事業場や特定 DTC 照会アプリの利用者（検査員・工員）の管理を行う。
2. 『利用者管理システム』は、主に次の機能がある。

1. 事業場の管理

- ①事業場情報（指定・認証番号、名称、住所等）の修正・変更をすることができる。

2. 利用者の管理

- ①特定 DTC 照会アプリの利用者を追加・停止・変更することができる（ユーザー ID の作成）。
※追加した利用者は、特定 DTC 照会アプリ及び OBD 検査結果参照システムにログインすることができる。
- ②利用者情報を一覧で確認したり、複数の利用者情報を CSV ファイルにより一括で更新することができる。
- ③また、利用者のパスワードを初期化することができる。
※グループに所属する事業場の管理責任者が事業場及び利用者の情報を修正する場合には、統括管理責任者による管理権限が必要となる。

2. OBD 検査実績の確認

- ①所属する事業場で実施された OBD 検査の実績集計数を月単位または日単位で検索し、検査結果の実績を一覧表示で確認・集計することができる。
- ②検査員別の実績集計を一覧表示で確認・集計することもできる。

8 本書で使用している用語について

各操作方法の説明において、次の用語を使用している。

1. 『クリック』… パソコンのマウスの左側を押す操作。
なお、タブレットの場合は、該当箇所を押す（タップする）。
2. 『ダブルクリック』… パソコンのマウスの左側を素早く 2 回押す操作。
なお、タブレットの場合は、該当箇所を素早く 2 回押す（タップする）。

用語	説明
DTC (故障コード)	Diagnostic Trouble Code。ECU が自己診断により異常を検知した際に記憶する異常部位・内容ごとに定められたコードのことで、多くは P、B、C、U 及びその後の 4 桁又は 6 桁の数字で示される。ただし、これによらず自動車製作者により独自に設定しているものもある。
ECU	Electronic Control Unit。エンジンやトランスミッションのほか、安全関係の装置などを電子的に制御する装置。
OBD	On-Board Diagnostics。ECU に搭載された故障を自己診断する機能のことであり、車載式故障診断装置ともいう。
OBD 検査システム	OBD 検査を実施するために必要となる OBD 検査用サーバーや特定 DTC 照会アプリなどの OBD 検査に関連する一連のシステム。
VCI	Vehicle Communication Interface。検査用スキャンツールの一部であり、ECU と端末 (Windows がインストールされたパソコン又はタブレット) 間の通信を中継する装置。
運用管理センター	OBD 検査利用申請に係る運用・管理や特定 DTC 情報等の申請確認、サーバーへの登録・更新、OBD 検査システムに係るプログラム・データ更新を行う。
管理責任者	事業場内の OBD 検査システムの利用者を管理する責任者。1 つの事業場に必ず配置する必要があり、最大 3 名まで配置することができる。
検査員	工員のうち、完成検査を実施できる要員。特定 DTC 照会アプリでは OBD 検査モードと OBD 確認モードを使用できる。
検査用スキャンツール	国が定める基準に適合する OBD 検査のための機器。検査用スキャンツールは、主に特定 DTC 照会アプリをインストールする端末 (Windows がインストールされたパソコン又はタブレット) 及び VCI で構成される。
工員	事業場に配置される整備要員。特定 DTC 照会アプリでは OBD 確認モードのみ使用できる。
整備事業者	道路運送車両法第 78 条に規定する自動車特定整備事業者。それぞれ整備を行うための事業場 (整備工場) を 1 拠点又は複数拠点保有する。整備工場のうち、国が指定するものを指定工場、指定を持たないものを認証工場とする。
統括管理責任者	複数の事業場をグループで統括して管理する責任者。事業場を統括管理するグループに必ず配置する必要があり、最大 3 名まで配置することができる。
特定 DTC	保安基準に不適合となる DTC (故障コード)。
特定 DTC 照会アプリ	検査用スキャンツールにインストールして用いる OBD 検査のためのアプリケーション。
認証書 / 指定書	自動車整備事業者として認証を受けている事業場の認証書又は指定自動車整備事業の指定書。

管理責任者・統括管理責任者用
利用者管理システムの操作方法マニュアル

■発行日 令和6年7月1日

■定 価 1,500 円（税込み）
送料 300 円

■発行所 株式会社 公論出版
〒110-0005
東京都台東区上野3-1-8
電話 03-3837-5731
FAX 03-3837-5740